

実績報告書

届出者	住所	大阪府八尾市西弓削2丁目6番地	氏名	理化工業株式会社 代表取締役 森嶋 勲
特定事業者の主たる業種		24金属製品製造業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		本社（工場、事務所）にて金属熱処理加工		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間					
2017年	4月	1日	～	2020年	3月31日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(2016)年度	前年度(2019)年度
温室効果ガス総排出量	3,194 t-CO ₂	2,896 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	3,454 t-CO ₂	3,126 t-CO ₂
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO ₂

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2019 年度)	第1年度 (2017 年度)	第2年度 (2018 年度)	第3年度 (2019 年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース) 3.0 %	0.1 %	1.4 %	9.4 %
		削減率(原単位ベース) %	%	%	%
削減率(平準化補正ベース)		3.1 %	0.2 %	1.6 %	9.6 %
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	()
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

昨年度の温室効果ガス削減状況のつきましては、デマンドによる電力のピークカットや適切な照明の運用などによる使用電力の削減実施を継続しており、その効果も確認できている状況です。また、本年度の引き続き旧型炉から高効率炉への更新作業も進めながら温室効果ガスの更なる削減に向けて対策を進めていきます。

(2) 推進体制

全社的に温暖化対策に取り組むため、KES(京都・環境マネジメントシステム・スタンダード)を導入し、環境改善目標を設定して目標の進捗報告を月一回の改善委員会に行っています。また、炉の加熱エネルギーの省エネ化も進めており、省エネタイプの加熱バーナーへの更新や焼入れ油煙の回収・再利用する装置等の導入を計画しています。